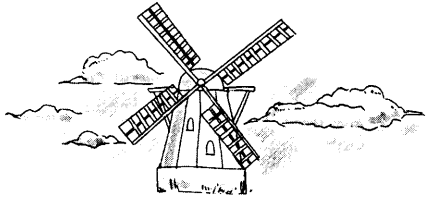


## 牧の家

宮坂静生

金井勝代家 八句

ここだくに馬酔木の蓄牧の家  
桃吹くと雀踊もうれしさう  
金松寺山の雪伴れ神還る  
飾り茄子門に吊すも背戸に雪  
囲炉裏消え還り来し神集ふ間に  
天井守八百万神ひしめける  
戦争が立たぬ縁側ぬくとしよ



牛飼ひを廃めし牧舎へ枯野星  
椋鳥に顔のぞき込まるる大草原  
大和島根青梗菜の御居処よき  
橋に橋架けて高層冬花火  
牡蠣食ぶや沖の夕映伊豆に伸ぶ  
負暄仲間ひとりとあらず鷹仰ぐ  
白元結句稿綴に購ふ小春  
飛鳥寺の文鎮たまひたる晩夏

宮地良彦先生に贈らる